

公益財団法人日本生態系協会

令和6年度事業計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた普及広報、啓発教育事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりを実現するために必要な考え方、施策、事業等を広く普及し啓発することを目的に、以下の事業を行いました。

(1) 政策提言事業

法令等の制定・改正、各種行政計画の立案や見直しに向けて、次の意見書・要望書を提出しました。また、与野党の国会議員に面会し、持続可能なくにづくり・地域づくりの必要性、とるべき施策について提言しました。

[意見書・要望書の提出]

- ・国土形成計画(全国計画)素案に対する意見(5月1日、国土交通省 国土政策局 総合計画課に提出)
- ・国土利用計画(全国計画)素案に対する意見(5月2日、国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土管理企画室に提出)
- ・「国土強靱化基本計画(素案)」に関する意見(6月8日、内閣官房 国土強靱化推進室に提出)
- ・食料・農業・農村基本法の検証・見直しに関する意見(7月14日、農林水産省 大臣官房 政策課に提出)
- ・「全国森林計画(案)」に対する意見(8月23日、林野庁 森林整備部 計画課に提出)
- ・令和6年度予算・税制等に関する要望(11月2～10日、自由民主党、公明党、立憲民主党等に提出)
- ・「自然再興の実現に向けた民間等の活動促進につき今後講ずべき必要な措置について(答申案)」に関する意見(12月26日、環境省 自然環境局 自然環境計画課に提出)
- ・環境教育等の推進に関する基本的な方針改定案に対する意見(2月22日、環境省 大臣官房 総合政策課 環境教育推進室に提出)
- ・「森林の生物多様性を高めるための林業経営の指針案」に関する意見(3月7日、林野庁 森林整備部 森林利用課に提出)

[意見発表]

- ・令和6年度予算・税制等に関する要望(11月2日、公明党 環境部会団体ヒアリングに出席、説明 / 8日、自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に出席、説明 / 10日、立憲民主党 環境部門会議団体ヒアリングに出席、説明)
- ・「自然再生基本方針」の見直しに向けた意見交換会(11月1日、環境省、農林水産省、国土交通省によるNGO等の環境団体ヒアリングに出席、説明)

(2) 国際フォーラム事業

国際フォーラムの次回の開催に向けて、国内外の持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報収集や検討を行いました。

(3) 会報及び書籍の編集・発行事業

会報「エコシステム」を隔月で編集・発行し、持続可能なくにづくり・地域づくりに関する考え方や国内外の事例を紹介しました。会報は、会員以外にも、国会議員、地方議会議員、国や地方自治体の職員等に配布しました。

11月号(英国の自然再生 ―NGOや企業の取り組み―)を中心に「会報贈呈キャンペーン」を実施し、当協会の考え方や先進事例の周知を行いました。

(4) 地方自治体への情報提供事業

全国の知事、市町村長や地方議会議員等を対象に、自然と共存した持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報提供を行いました。

(5) ウェブサイト、各種報道機関等への広報事業

協会が運営するウェブサイトやフェイスブック等のSNSのほか、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の媒体を通じ、協会の考え方の普及や活動に関する広報を行いました。

また、「全国学校・園庭ビオトープコンクール2023発表大会」やHTB北海道テレビ放送開局55周年記念映画「奇跡の子」等、当協会の関わる各種の事業が様々な媒体で取り上げられました。

(6) 写真等の貸出事業

協会所有の写真や図版等の貸出を通じ、協会の考え方の普及や活動に関する広報を行いました。

(7) 人材開発事業

環境に関する正しい知識と技術を持つ人材の育成のため、ビオトープ管理士及びこども環境管理士の資格認証、並びにビオトープ管理士に関するオンラインセミナーを実施しました。

ビオトープ管理士で構成される日本ビオトープ管理士会の運営支援と、こども環境管理士の活動支援を行いました。

(8) 学校・園庭ビオトープ普及促進事業

学校ビオトープ・園庭ビオトープの普及と質の向上を目的とした「全国学校・園庭ビオトープコンクール2023」を実施しました。本コンクールの開催に当たっては、広く協賛・寄付を募り、多くの支援を頂きました。2月4日には発表大会を行い、秋篠宮皇嗣殿下並びに悠仁親王殿下の御臨席を賜るとともに、開会に当たり、秋篠宮皇嗣殿下から御言葉を賜りました。

その他、学校・園庭ビオトープのつくり方やその活用に関する問合せの対応、学校・園庭ビオトープの整備・活用に当たっての指導・助言、メディアでの記事執筆、番組制作への協力等を行いました。

(公財)三菱UFJ環境財団による学校ビオトープづくり支援助成の運営に協力し、学校・園庭ビオトープの取組への指導助言を行いました。

(9) 環境講座事業

5月、7月、9月、11月、12月、1月、2月に、京王百貨店新宿店の「くらしサプリ」において、一般市民を対象にした環境や生きものに関する講座を企画し、講師を務めました。

(10) 海外の視察ツアー事業

令和6年度事業「子どもの感性・思いやり・自立心を育む 自然ゆたかなドイツの園づくりツアー2024」の実施に向け、情報収集とプログラムの検討、視察先との交渉を行いました。

(11) 委員・講師派遣事業

以下に挙げた国や地方自治体、団体等による各種委員会、検討会の委員等に、役員や職員が就任しました。

- ・ 自然再生専門家会議委員(環境省、農林水産省、国土交通省)
- ・ 釧路湿原自然再生協議会委員(釧路湿原自然再生協議会)
- ・ 生物多様性のための30by30アライアンス発起人(環境省)
- ・ 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 神奈川県河川委員会委員(神奈川県)
- ・ 福井県コウノトリ定着推進会議委員(福井県)
- ・ 第3次生物多様性おおいと県戦略策定委員会委員(大分県)
- ・ 長沼町タンチョウとの共生検討会議アドバイザー(北海道長沼町)
- ・ 黒松内生物多様性保全奨励事業運営委員会(北海道黒松内町)
- ・ 所沢市みどりの審議会委員(埼玉県所沢市)
- ・ 志木市環境審議会委員(埼玉県志木市)
- ・ 自然と共生する里づくり連絡協議会オブザーバー(千葉県いすみ市)
- ・ 佐渡市総合戦略アドバイザー(新潟県佐渡市)
- ・ 出雲市トキ野生復帰アドバイザー(島根県出雲市)

等

以下に挙げた地方自治体や企業・団体、NGO、学校等からの依頼に応じ、役員や職員を講師として派遣しました。

- ・ 国土交通大学校 令和5年度専門課程 河道計画・環境研修「多自然、かわまち・エコネット」、「エコロジカルネットワークの社会経済的意義について」
- ・ 令和5年度里山再生セミナー(岐阜県森林・山村多面的機能発揮対策協議会)

- ・古河市役所 幹部対象勉強会(茨城県古河市)
- ・令和5年度鳥海山・飛鳥ジオパーク環境保全フォーラム(鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会)
- ・幼児環境教育(園庭ビオトープの普及啓発)を推進する研修会(幼児期の環境教育普及ネットワーク・bioa)
- ・自然と共存する持続可能な農業(未来遺産見沼たんぼプロジェクト推進委員会)
- ・勉強会「JHEP認証制度について」(大和ハウス工業(株))
- ・2023年度赤羽地区「生物多様性教育」(DNPロジスティクス労働組合)
- ・大社ロータリークラブでの談話
- ・新潟大学大学院 自然科学研究科「環境ガバナンス概論／環境ファシリテーター論及び演習」
- ・鹿児島大学 共通教育科目「自然環境保全と世界遺産」
- ・学習院大学 文学部 教育学科「環境教育論」
- ・日本大学 生物資源科学部 森林資源科学科「実践森林学」、「実践森林資源科学」
- ・坂東市立長須小学校「田んぼの生きもの調査」
- ・東京都板橋区立三園小学校 総合的な学習の時間「地球の環境を守ろう」
- ・TCA東京ECO動物海洋専門学校 エコ・コミュニケーション学科「環境保全Ⅰ」

等

(12) 市民活動支援

当協会と目的を同じくする国内外の個人及び市民団体と情報交換を行うとともに、活動に関する相談を受け、提言及び支援を行いました。

(一社)関東地域づくり協会の助成金を活用し、関東地方における水と緑のネットワーク拠点に係る市民団体や企業等の取組に対する支援を行いました。

こどもの森づくりフォーラム2023 in SAITAMA(7月8・9日、こどもの森づくりフォーラム実行委員会主催)、日本版気候若者会議2023(8月9日～10月29日、(一社)日本若者協議会主催)、琉球弧アダンサミット2023 in 奄美大島(12月2・3日、琉球弧アダンサミット2023 in 奄美大島実行委員会主催)を後援、2024NEW環境展、2024地球温暖化防止展(ともに令和6年5月22～24日、日経ビジネス(株)主催)の協賛を承諾しました。

(公社)生態系トラスト協会「森のしずく文庫」の発刊に寄せ、文章を贈りました。

経団連自然保護協議会・2030 生物多様性枠組実現日本会議主催「企業とNGO等との交流会兼生物多様性に関するビジネスマッチング」(12月5日)に参加、出展しました。

(一社)東京北区観光協会「AKABANE PICNIC FESTA 2023」(3月23日)に協力しました。

三井住友信託銀行四日市支店のロビー展に協力しました。

令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰において、当協会から推薦した園博

明氏(元評議員)が表彰されました。

(13) 学生研修等受入事業

大正大学 社会共生学部 公共政策学科、日本大学 生物資源科学部 森林学科、東京環境工科専門学校等からインターンシップや問合せを受け入れ、当協会の取組を解説し、自然の重要性や公益活動の必要性等を指導しました。

東亜大学 造園学科(韓国)から視察を受け入れ、当協会の活動内容やその成果、我が国における自然生態系の保全・再生に関する法制度的措置等について説明しました。

森の墓苑にて、教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修(環境省)、TCA東京ECO動物海洋専門学校、(株)加藤建設の研修を受け入れ、自然の重要性や公益活動の必要性、森の墓苑の取組の意義等を指導しました。

(14) その他

環境省制定の環境マネジメントシステム「エコアクション 21」に、当協会が認証・登録されました(更新)。

2. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた調査研究事業

行政や企業からの受託業務や助成金を活用し、国内外の自然生態系の保全・再生・創出に関する各種データの収集、分析を行いました。また、これらの結果は、普及広報、啓発教育事業の基礎資料、具体的事例として活用しました。

なお、次の各国に役員・職員を派遣し、情報を収集しました。

()内は視察テーマ

- ・7月6～15日 英国 スコットランド、イングランド南西部(ビームサントリーによる泥炭地再生、英国ナショナルトラストによる氾濫原再生・ビーバーの再導入 等)
- ・1月11～14日 韓国 ソウル、スンチョン、コソン(ツル類及び大型鳥類に関するヒアリングと現地視察 等)

(1) 国内外の関係法・条例等に関する調査研究事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに関する条約、法律、条例、行政計画、具体的な施策について情報を収集・分析し、調査・研究を行いました。

(2) 自然生態系調査研究事業

自然生態系の構成要素である野生生物を中心に、その生態や生物多様性に関する調査・研究を行い保全活動にいかしました。

(3) エコロジカル・ネットワークに関する調査研究事業

コウノトリ、トキ、ツル類等の大型水鳥類を指標とした地域づくりや、全国各地の河川・流域等におけるエコロジカル・ネットワーク形成に必要な情報を収集・分析し、今後の施策等の研究を行いました。

北海道石狩川流域におけるエコロジカル・ネットワーク計画推進のため、長沼町に職員1名の長期派遣を行いました。

(4) ハビタット評価調査研究事業

ハビタット評価認証制度(JHEP認証制度)に基づく認証について、グランダ学芸大学(ヒューリックリート投資法人)、アリア代々木上原(ヒューリック(株))、ホスピタルメント武蔵野(ヒューリックプライベートリート投資法人)、前田建設工業株式会社ICIラボ(前田建設工業(株))の認証更新を行いました。

G認証制度(二次的自然環境保全型ハビタット認証制度)を創設し、筑波東急ゴルフクラブが認証されました。(予定)

(5) 自然再生に関する調査研究事業

国内外の自然再生の方法、評価等に関する調査研究を行いました。

千葉県長南町に所有するトラスト地において、森と草はらを取り戻しエコロジカル・ネットワークに寄与する「森と草はらの再生プロジェクト」の取組を行いました。

(6) 自然災害と地域づくりに関する調査研究事業

滋賀県伊吹山周辺のイヌワシ生息地、北海道サロベツ原野周辺のシマアオジ生息地、佐賀県東よか干潟周辺のシギ・チドリ生息地、北海道釧路湿原・羅臼周辺の野鳥生息地、令和6年能登半島地震におおける被災地(石川県)等の取材を行い、自然と共存した美しく持続可能なくにつくり・地域づくりに向けた参考にしました。

所有者不明土地の現状や、社会情勢の変化を踏まえた新たな土地制度の在り方について、調査研究を行いました。

(7) 環境教育に関する調査研究事業

国土交通省の荒川知水資料館(東京都北区)の運営支援を通じて、流域の学校を始めとした多様な主体に対する情報発信や学習支援等を行いました。

(8) 環境と経済に関する調査研究事業

野生の生きものを守りいかす観光等の持続可能な地域振興を始めとした、自然環境と経済との関係について、調査・研究を行いました。

3. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けたナショナル・トラスト事業

(1) ナショナル・トラスト地保全事業

活動の趣旨に賛同する個人や企業・団体からの寄付金を活用し、自然生態系を守るための土地の購入や寄付による所有に向け、調査検討を行いました。

(2) ナショナル・トラスト活動支援

我が国におけるナショナル・トラスト活動を発展させる上で必要な法律の制定や税制改正に向けた提言を行い、全国のナショナル・トラスト活動の発展に向けた協力を行いました。

特に(公社)日本ナショナル・トラスト協会の運営支援を行いました。

4. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた自然保全・再生墓地事業

(1) 自然の保全と再生を目的とした墓地の整備運営事業

森の墓苑(千葉県長南町)の運営と管理・整備を行いました。

「植樹草会2023 みんなで育む1本1草、春の幸運の森づくり」、「トウキョウサンショウウオ放流会」、「秋の虫たちの美しき調べ 虫聴き会2023」を開催し、体験を通じた普及広報に取り組みました。

SNS、京王百貨店新宿店の「くらしサプリ」、三井住友信託銀行(株)のロビー展にて情報発信を行う等、森の墓苑の広報に取り組みました。

(2) 自然の保全と再生を目的とした墓地に関する情報収集

墳墓・墓地と自然に関する情報を収集し、森の墓苑の運営や整備にいかしました。